

③研究部会 4部会

協議題 「婦人団体活動の現状」

④全体会

討議題 「婦人団体活動のすすめ方について」

⑤レクリエーション 交歓会

(4) 効果

各種団体のリーダーが意見交換を通して相互理解を深め、参加者の規律正しい研修を通して団体育成の意欲を深めたことはまことに有意義であった。特に昨年度につづき、演習の成果はすばらしく、今後の団体運営ならびに健全な地域活動が期待される。

6. 婦人の国内研修

(1) 目的

県内婦人の代表を神奈川県に派遣し、都市における婦人の教養・文化・産業・生活・団体活動について実地視察、研究調査を行ない、地域の婦人との交歓をととして社会的視野をひろめ、もって婦人の資質の向上ならびに明るい社会の建設に寄与する。

(2) 期日・派遣先

①期日 昭和46年9月27日～10月2日（5泊6日）

②派遣先 神奈川県

(3) 参加者

8名（うち引率者1名）

(4) 視察調査地ならびに研修内容

調査地	内 容
川崎市	○川崎市における婦人学級生との交歓会 川崎市立産業文化会館見学
横浜市	○横浜市における自主学級生との交歓会 神奈川婦人会館・青少年センター・青少年会館 見学
藤沢市	○藤沢市消費生活学級生との交歓会 ○神奈川県消費生活センター見学
横須賀市	○横浜市婦人団体との交歓会 ○横須賀市立博物館見学

(5) 効果

大都市における婦人の旺盛な学習意欲と、活発な自主学級活動展開の実態、社会教育施設の整備状況などを視察して深い感銘をうけた。

また都市における婦人団体の組織・活動に対して自主的な意欲が湧き起っていることに驚きの眼をみはり、地域における実践活動促進への期待を大きく持った。

7. 婦人学級生大会

(1) 趣旨

県下各方部の婦人学級生ならびに婦人教育関係者が一堂に会し、婦人学級の学習内容の検討と、多様化する学習方法について発表、交歓を行ない、当面する諸問題について研究協議し、学習効果の向上をはかり、婦人教育の振興に資する。

(2) 期日・会場

①期日 昭和46年11月8日・9日（2日間）

②会場 福島市市民センター

(3) 参加者

婦人学級生・婦人教育関係者 653名

(4) 内容

① 研究主題

「婦人学級における学習を効果的に展開するために、学習の内容や方法をどのようにくふうしたらよいか」

② 研究部会

- 第1・2分科会 話し合いを効果的にとり入れた学習のすすめかた
- 第3・4分科会 放送利用による自主的な学習のすすめかた
- 第5・6分科会 作業を中心とするグループ学習のすすめかた
- 第7分科会 資料の活用による生活に根ざした学習のすすめかた

③ 研究協議の方法

ア、講演 婦人の学習と放送

イ、事例発表 6学級

グループ活動を生かした市民生活に関する学習

県北 東和町南戸沢婦人学級

就業婦人の生活設計に関する学習

県中 郡山市熱海ルピナス婦人学級

都市における市民生活に関する学習

県南 白河市民生活婦人学級

統計資料を活用した消費生活学習

会津 柳津町研究婦人学級

地域性を生かした家庭の消費生活学習

相双 小高町消費生活婦人学級

働く未婚婦人の家庭生活設計に関する学習

いわき 常磐職場婦人学級

ウ、他県婦人学級視察報告

エ、レクリエーション 歌唱 ゲーム

オ、研究部会の報告

カ、まとめ・展示

(5) 効果

福島市教委の協力により、盛大に実施され、特に福島市婦人学級生による自主的な大会運営は県下の参加者に深い感動と刺激を与えた。

学習の方法に焦点をあてた部会の研究協議も、今後の学習に新鮮ないぶきを与えた。

8. 婦人学級の状況

年度	計	文部省委嘱	県委託補助	市町教委委	公民館	婦人団体	教委団体共催	婦人有志開設	その他
46	745	5	8	64	413	107	115	18	15

9. 婦人教育指導員の設置

(1) 趣旨

婦人教育の重要性にかんがみ、県教育庁教育事務所に婦人教育指導員を置き、婦人教育全般の振興をはかる。

(2) 昭和46年度婦人教育指導員

管内	氏名	住 所
県北	阿部美智子	福島市泉字天下5-43